

科目名	手話学		担当講師 (実務経験)	佐藤 尚行 有■ 無□		
対象学科	動物看護学科		年次・学期	2年 (■前期 ・ □後期)		
授業形態	■講義 □実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(10) 後期(一)	時間(単位)	20(1)	
概要	<p>聴覚障害者の言語である「手話」の基本を学び、外見では分かりにくい聴覚障害についての理解を深めながら、実際に聴覚障害者と接した時に適切な対応ができ、且つ積極的なコミュニケーションをとるための方法を学ぶ。</p> <p>1,聴覚障害者への配慮と対応方法を学び、基本的な手話を習得・実践できる。 2,聴覚障害者のコミュニケーション手段の1つである手話という言語を基礎から学び、初歩的な会話ができる。</p>					
テキスト等	さっぼろの手話					
評価方法 評価基準	評価方法		評価割合(%)			
	定期試験		60%			
	小テスト・技術力・作品 授業態度		20%			
	レポート		%			
	出席状況		20%			
			講義テーマ		講義内容	
授業進行	1	①聴覚障害の基礎知識 ②伝えあってみましょう	①理論講義「聴覚障害者の基礎知識」 ②日常生活の中にあるものを身振りで伝えどのようにしたら伝わるのか身振りや表情の工夫について学習する			
	2	あいさつや名前の手話	挨拶・名前を表す方法を学び、聴覚障害者のコミュニケーションの方法がいろいろあることを理解する			
	3	人物の手話	家族の紹介をする学習をしながら、人物の表現の基礎となる手話を学ぶ			
	4	数の手話	数の表し方を学習して疑問詞を使って会話練習する			
	5	趣味の手話	趣味に関する手話を学習して疑問詞を使った会話練習をする			
	6	職業の手話	職業に関わる手話を学習して、会話練習をする			
	7	地名の手話	住所や地名に関わる手話を学習して、会話練習をする			
	8	①手話の基礎知識 ②自己紹介のまとめ	①理論講義「手話の基礎知識」 ②今まで学んだ手話を活かして手話を正確に表現し意思をスムーズに伝える			
	9	時に関する手話	1日や1ヶ月の生活に関する手話を学習して、会話練習をする			
	10	①時に関する手話を覚えましょう ②試験対策	①1年の生活に関する手話 ②今まで学習したことを活かせるように試験問題の対策をする			

科目名	伴侶動物学	担当講師 (実務経験)	池田 麻美 有■ 無□		
対象学科	動物看護学科	年次・学期	2年 (□前期 ・ ■後期)		
授業形態	■講義 □実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(-) 後期(15)	時間(単位)	30(2)
概要	伴侶動物の種類や疾病、飼育方法などを学ぶ				
テキスト等					
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)			
	定期試験	60%			
	小テスト・技術力・作品	20%			
	授業態度				
	レポート	%			
出席状況	20%				
授業進行		講義テーマ	講義内容		
	1	概論	エキゾチックアニマルとは・分類		
	2	ウサギ①	生理生態・品種		
	3	ウサギ②	疾病		
	4	ウサギ③	飼育方法		
	5	ハムスター①	生理生態・品種		
	6	ハムスター②	疾病		
	7	ハムスター③	飼育方法		
	8	モルモット①	生理生態・品種		
	9	モルモット②	疾病・飼育方法		
	10	フェレット①	生理生態・品種		
	11	フェレット②	疾病・飼育方法		
	12	リス・チンチラ	生理生態・品種・疾病・飼育方法		
	13	鳥類①	生理生態・品種		
	14	鳥類②	疾病・飼育方法		
15	その他動物	生理生態・品種・疾病・飼育方法			

科目名	動物福祉倫理	担当講師 (実務経験)	池田 麻美 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象学科	動物看護学科	年次・学期	2年 (<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input type="checkbox"/> 後期)		
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(15) 後期(—)	時間(単位)	30(2)
概要	生命倫理の意義、動物福祉の基本概念を学び専門職としての理解を深める。				
テキスト等	配布資料				
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)			
	定期試験	60%			
	小テスト・技術力・作品 授業態度	20%			
	レポート	%			
	出席状況	20%			
	授業進行				
	1	動物福祉とは	人と動物の関係		
	2	生命倫理の概念①	生命倫理の考え方		
	3	生命倫理の概念②	生命倫理と獣医療の関わり		
	4	生命倫理の概念③	西欧と日本における動物観の違い		
	5	動物福祉の概念①	動物福祉の考え方・「5つの自由」		
	6	動物福祉の概念②	世界と日本における近代及び現代の動物愛護運動		
	7	愛玩動物の福祉①	愛玩動物の適正飼養と福祉上の問題		
	8	愛玩動物の福祉②	国内外の動物保護活動の現状と課題		
	9	愛玩動物の福祉③	飼養放棄や殺処分問題、動物のみだりな殺傷・虐待(積極的な虐待とネグレクト)の現状、対策		
	10	産業動物の福祉①	産業動物における福祉上の問題		
	11	産業動物の福祉②	国際的な福祉基準		
	12	実験動物の福祉①	実験動物における福祉上の問題		
	13	実験動物の福祉②	3Rの概念と具体的方法		
	14	展示動物の福祉①	展示動物における福祉上の問題		
	15	展示動物の福祉②	環境エンリッチメント		

科目名	国家試験対策講座	担当講師 (実務経験)	池田 麻美 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象学科	動物看護学科	年次・学期	2年 (<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期)		
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(30) 後期(30)	時間(単位)	120(8)
概要	愛玩動物看護師国家試験合格を目指す				
テキスト等	(仮題)愛玩動物看護師国家試験問題集(緑書房・エデュワードプレス)				
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)	授業進度は変更になる場合があります		
	定期試験	60%			
	小テスト・技術力・作品 授業態度	20%			
	レポート				
	出席状況	20%			
授業進行		講義テーマ	講義内容		
	1	基礎動物学 1	動物形態機能学①		
	2	基礎動物学 2	動物形態機能学②		
	3	国家試験対策問題 1	演習問題①		
	4	基礎動物学 3	動物繁殖学		
	5	基礎動物学 4	生命倫理・動物福祉		
	6	国家試験対策問題 2	演習問題②		
	7	基礎動物学 5	動物行動学		
	8	基礎動物学 6	動物栄養学①		
	9	基礎動物学 7	動物栄養学②		
	10	国家試験対策問題 3	演習問題③		
	11	基礎動物学 8	動物看護関連法規		
	12	国家試験対策問題 4	演習問題④		
	13	基礎動物看護学 1	動物看護学概論		
	14	基礎動物看護学 2	動物病理学		
15	国家試験対策問題 5	演習問題⑤			

		講義テーマ	講義内容
		16	基礎動物看護学 3
17	基礎動物看護学 4	動物臨床看護学総論	
18	国家試験対策問題 6	演習問題⑥	
19	基礎動物看護学 5	動物臨床看護学各論①	
20	基礎動物看護学 6	動物臨床看護学各論①	
21	基礎動物看護学 7	動物臨床看護学各論①	
22	国家試験対策問題 7	演習問題⑦	
23	国家試験対策問題 8	演習問題⑧	
24	基礎動物看護学 8	動物臨床検査学①	
25	基礎動物看護学 9	動物臨床検査学②	
26	国家試験対策問題 9	演習問題⑨	
授業進行	27	基礎動物看護学 10	動物医療コミュニケーション
	28	国家試験対策問題 10	演習問題⑩
	29	愛玩・適正飼養学 1	愛玩動物学
	30	愛玩・適正飼養学 2	人と動物の関係学
	31	国家試験対策問題 11	演習問題⑪
	32	実習 1	動物形態機能学実習①
	33	実習 2	動物形態機能学実習②
	34	実習 3	動物形態機能学実習③
	35	国家試験対策問題 12	演習問題⑫
	36	実習 4	動物内科看護学実習①
	37	実習 5	動物内科看護学実習②
	38	実習 6	動物内科看護学実習③

	講義テーマ	講義内容
授業進行	39 国家試験対策問題 13	演習問題⑬
	40 実習 7	動物臨床検査学実習①
	41 実習 8	動物臨床検査学実習②
	42 実習 9	動物臨床検査学実習③
	43 国家試験対策問題 14	演習問題⑭
	44 実習 10	動物外科看護学実習①
	45 実習 11	動物外科看護学実習②
	46 実習 12	動物外科看護学実習③
	47 国家試験対策問題 15	演習問題⑮
	48 実習 13	動物臨床看護学実習①
	49 実習 14	動物臨床看護学実習②
	50 国家試験対策問題 15	演習問題⑮
	51 国家試験対策問題 16	演習問題⑯
	52 国家試験対策問題 17	演習問題⑰
	53 国家試験対策問題 18	演習問題⑱
	54 国家試験対策問題 19	演習問題⑲
	55 国家試験対策問題 20	演習問題⑳
	56 試験対策 1	模擬試験①
	57 試験対策 2	模擬試験②
	58 試験対策 3	模擬試験③
59 試験対策 4	模擬試験④	
60 試験対策 5	模擬試験⑤	

科目名	動物内科看護学実習Ⅱ	担当講師 (実務経験)	岩崎 忍 有■ 無□		
対象学科	動物看護学科	年次・学期	2年 (■前期 ・ ■後期)		
授業形態	■講義 □実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(15) 後期(15)	時間(単位)	60(2)
概要	内科診療に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を習得する				
テキスト等	認定動物看護師教育コアカリキュラム2019準拠 臨床動物看護学①(interzoo)				
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)			
	定期試験	60%			
	小テスト・技術力・作品	%			
	授業態度				
	レポート	20%			
	出席状況	20%			
授業進行		講義テーマ	講義内容		
	1	身体検査 1	全身状態の評価①		
	2	身体検査 2	全身状態の評価②		
	3	身体検査 3	バイタルサイン①		
	4	身体検査 4	バイタルサイン②		
	5	診察補助 1	診察の準備や診察室の衛生管理		
	6	診察補助 2	基本的な保定①		
	7	診察補助 3	基本的な保定②		
	8	診察補助 4	聴診器や体温計、注射器の適切な取り扱い方①		
	9	診察補助 5	聴診器や体温計、注射器の適切な取り扱い方②		
	10	診察補助 6	採血・採尿などの手順①		
	11	診察補助 7	採血・採尿などの手順②		
	12	診察補助 8	薬剤の取扱い、経口投与・注射の手順①		
	13	診察補助 9	薬剤の取扱い、経口投与・注射の手順②		
	14	輸液・輸血 1	留置針設置の準備及び補助①		
	15	輸液・輸血 2	留置針設置の準備及び補助②		

授業進行		講義テーマ	講義内容
	16	輸液・輸血 3	輸液ポンプ、シリンジポンプの使用方法①
	17	輸液・輸血 4	輸液ポンプ、シリンジポンプの使用方法②
	18	輸液・輸血 5	輸液・輸血中の動物管理①
	19	輸液・輸血 6	輸液・輸血中の動物管理②
	20	マイクロチップ 1	マイクロチップの適切な挿入部位、保定法
	21	マイクロチップ 2	マイクロチップ装着手順
	22	生体検査 1	心電図検査の実施と記録、保定法
	23	生体検査 2	X線撮影のための基本的な保定
	24	生体検査 3	放射線防御のための装備
	25	生体検査 4	超音波検査のための基本的な保定①
	26	生体検査 5	超音波検査のための基本的な保定②
	27	生体検査 6	神経学的検査の記録
	28	生体検査 7	眼科検査補助
	29	生体検査 8	皮膚検査の補助
30	生体検査 9	外耳道検査の補助	

科目名	動物外科看護実習Ⅱ	担当講師 (実務経験)	高橋 徹 有■ 無□		
対象学科	動物看護学科	年次・学期	2年 (□前期 ・ ■後期)		
授業形態	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(-) 後期(15)	時間(単位)	45(1)
概要	手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命など、動物外科看護学で学んだ知識の実践力を修得する				
テキスト等	認定動物看護師教育コアカリキュラム2019準拠 臨床動物看護学①(interzoo)				
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)	授業進度は変更になる場合があります		
	定期試験	60%			
	小テスト・技術力・作品 授業態度	20%			
	レポート	%			
	出席状況	20%			
授業進行		講義テーマ	講義内容		
	1	一般外科の原則	無菌操作から周術期疼痛管理まで、緊急時の心構え		
	2	無菌操作の原則	無菌操作の総論・OPE用パック・無菌操作のルール		
	3	滅菌と消毒	滅菌消毒法・器具機械、手指、衣類、術野		
	4	動物の術前評価	病歴・身体検査・臨床検査・手術リスクの判断・臨床検査での異常判断		
	5	手術施設/設備及びスタッフ	手術施設・環境・スタッフの維持管理		
	6	手術の準備 1	動物側の準備: 食事管理・排泄・皮毛の処理・体位・ドレーピング・術中の体位		
	7	手術の準備 2	人側の準備: 手洗いからガウン装着・いかに無菌的な行動が出来るか		
	8	手術器具の取り扱い	骨外科以外の手術器械の名称・用途・器具器械の洗浄、保管、不妊手術ビデオ		
	9	開腹手術の実際	不妊手術の実際の作業と機械器具・縫合針・縫合糸・結紮法・出血法		
	10	麻酔法と麻酔管理	麻酔の準備・麻酔法・麻酔導入から覚醒・麻酔管理と麻酔維持 監視モニター		
	11	手術動物の術前評価	身体検査・臨床検査・手術のリスク評価・クライアントとのコミュニケーション		
	12	放射線	レントゲンフィルムの簡単な見方・放射線の取り扱いと防御の重要性		
	13	運動器の外科	骨外科の手術器具の名称と使い方・管理・骨折の固定法		
	14	一般外科1	食道内異物・イレウス・重積・横隔膜ヘルニア・膀胱結石・椎間板ヘルニア		
15	一般外科2	子宮蓄膿症・帝王切開時の処置法			

科目名	実験動物学		担当講師 (実務経験)	櫻間麻友 有■ 無□		
対象学科	動物看護学科		年次・学期	2年 (□前期 ・ ■後期)		
授業形態	■講義 □実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(-) 後期(15)	時間(単位)	30(2)	
概要	実験動物の品種や飼養管理法、動物実験との関わりについて学ぶ					
テキスト等	認定動物看護師教育コアカリキュラム2019準拠 応用動物看護学③(interzoo)					
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)				
	定期試験	60%				
	小テスト・技術力・作品 授業態度	20%				
	レポート	%				
	出席状況	20%				
授業進行		講義テーマ	講義内容			
	1	動物実験 1	実験動物の役割と歴史			
	2	動物実験 2	実験動物と法律			
	3	動物実験 3	実験動物の動物種や品種、系統とその目的			
	4	動物実験 4	医学的制御(近交系、クローズドコロニー、交雑群)			
	5	動物実験 5	微生物学制御(無菌動物、ノバイオート、SPF、コンベンショナル動物)			
	6	動物実験 6	環境制御			
	7	代表的な実験動物の飼養管理、繁殖法 1	各動物の飼養管理、繁殖法について理解する ①			
	8	代表的な実験動物の飼養管理、繁殖法 2	各動物の飼養管理、繁殖法について理解する ②			
	9	代表的な実験動物の飼養管理、繁殖法 3	各動物の飼養管理、繁殖法について理解する ③			
	10	保定 1	各動物の保定法 ①			
	11	保定 2	各動物の保定法 ②			
	12	疾患モデル動物 1	各動物の人の疾患モデルについて理解する ①			
	13	疾患モデル動物 2	各動物の人の疾患モデルについて理解する ②			
	14	動物実験の代替法	代替法と活用			
15	実験動物の福祉	3R、5つの自由、エンリッチメント、苦痛評価				

科目名	動物形態機能学Ⅲ	担当講師 (実務経験)	和田 好洋 有■ 無□		
対象学科	動物看護学科	年次・学期	2年 (□前期 ・ ■後期)		
授業形態	■講義 □実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(-) 後期(15)	時間(単位)	30(2)
概要	動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解するとともに。病的変化について学ぶ基盤を確立する				
テキスト等	認定動物看護師教育コアカリキュラム2019準拠 基礎動物看護学①(interzoo)				
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)			
	定期試験	60%			
	小テスト・技術力・作品 授業態度	20%			
	レポート	%			
	出席状況	20%			
授業進行		講義テーマ	講義内容		
	1	内分泌とホルモン 1	内分泌の定義		
	2	内分泌とホルモン 2	ホルモンの性質、機能、生成、分泌、フィードバック調節		
	3	内分泌とホルモン 3	主な内分泌臓器の構造と機能		
	4	内分泌とホルモン 4	主なホルモンの作用と標的器官 ①		
	5	内分泌とホルモン 5	主なホルモンの作用と標的器官 ②		
	6	脳と神経 1	ニューロンの構成と活動電位、シナプス伝達		
	7	脳と神経 2	脳の構造と機能		
	8	脳と神経 3	脊髄の構造と機能		
	9	脳と神経 4	体性神経の構成と機能		
	10	脳と神経 5	自律神経の構成と機能		
	11	皮膚と感覚器 1	皮膚の構造と機能		
	12	皮膚と感覚器 2	皮膚の付属器官		
	13	皮膚と感覚器 3	体性感覚(皮膚感覚)		
	14	皮膚と感覚器 4	特殊感覚(視覚、聴覚、平衡感覚、臭覚、味覚)		
15	総括	まとめ			

科目名	動物内科看護学Ⅱ	担当講師 (実務経験)	岩崎 忍 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象学科	動物看護学科	年次・学期	2年 (<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input type="checkbox"/> 後期)		
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(15)後期(-)	時間(単位)	30(2)
概要	内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査、採血、投薬、輸液、輸血、画像診断に必要な検査、所見の記録等				
テキスト等	認定動物看護師教育コアカリキュラム2019準拠 臨床動物看護学①(interzoo)				
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)			
	定期試験	60%			
	小テスト・技術力・作品 授業態度	20%			
	レポート	%			
	出席状況	20%			
	授業進行	講義テーマ			
	1 検査・処置に必要な技術	マイクロチップの挿入			
	2 投薬 1	薬の処方			
	3 投薬 2	内服薬の使用法			
	4 投薬 3	薬剤の注射法			
	5 投薬 4	外用薬の使用法、薬浴の実施法			
	6 投薬 5	投薬前後の注意事項			
	7 輸液 1	輸液の適応とリスク			
	8 輸液 2	輸液計画			
	9 輸液 3	各種輸液剤の特性や適応			
	10 輸液 4	輸液中のモニタリング			
	11 輸血 1	輸血の適応とリスク			
	12 輸血 2	輸血計画			
	13 輸血 3	クロスマッチ試験と血液型			
	14 輸血 4	各種輸血製剤の適応や特性			
	15 輸血 5	輸血に関わる手技・輸血による副反応			

科目名	動物形態機能学実習Ⅱ	担当講師 (実務経験)	岩崎 忍 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象学科	動物看護学科	年次・学期	2年 (<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input type="checkbox"/> 後期)		
授業形態	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(15) 後期(-)	時間(単位)	45(1)
概要	動物の身体の形態と機能を、骨格標本や臓器模型、主要臓器の組織像などを通じて学ぶ				
テキスト等	認定動物看護師教育コアカリキュラム2019準拠 基礎動物看護学①(interzoo)				
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)			
	定期試験	60%			
	小テスト・技術力・作品	%			
	授業態度				
	レポート	20%			
	出席状況	20%			
授業進行		講義テーマ	講義内容		
	1	消化器系 1	小腸の構造(マクロ・ミクロ)		
	2	消化器系 2	肝臓(マクロ)		
	3	消化器系 3	肝臓(ミクロ) ・ 肝小葉の構造		
	4	循環器系	心臓(マクロ)		
	5	呼吸器系	肺(ミクロ)		
	6	泌尿器系	腎臓(ミクロ)		
	7	感覚器系 1	眼球の構造①		
	8	感覚器系 2	眼球の構造②		
	9	内分泌系 1	甲状腺(ミクロ)		
	10	内分泌系 2	副腎(ミクロ)		
	11	内分泌系 3	膵臓(ミクロ)		
	12	血液 1	哺乳類と鳥類の違い		
	13	血液 2	網状赤血球 ・ 有核赤血球		
	14	外皮系	皮膚		
15	生殖器	膣赤			

科目名	産業動物学		担当講師 (実務経験)	林 英明 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象学科	動物看護学科		年次・学期	2年 (<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input type="checkbox"/> 後期)		
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(15)	後期(-)	時間(単位)	30(2)
概要	産業動物の歴史や品種、飼養管理法について学ぶ					
テキスト等	認定動物看護師教育コアカリキュラム2019準拠 応用動物看護学③(interzoo)					
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)				
	定期試験	60%				
	小テスト・技術力・作品 授業態度	20%				
	レポート	%				
	出席状況	20%				
授業進行		講義テーマ	講義内容			
	1	概論	産業動物とは・人との関り			
	2	ウシの飼養管理 1	歴史・品種・特徴・消化器の形態と機能			
	3	ウシの飼養管理 2	性周期と繁殖生理・食性と飼養法			
	4	ウマの飼養管理 1	歴史・品種・特徴・消化器の形態と機能			
	5	ウマの飼養管理 2	性周期と繁殖生理・食性と飼養法			
	6	めん羊・山羊の飼養管理 1	歴史・品種・特徴・消化器の形態と機能			
	7	めん羊・山羊の飼養管理 2	性周期と繁殖生理・食性と飼養法			
	8	ブタの飼養管理 1	歴史・品種・特徴・消化器の形態と機能			
	9	ブタの飼養管理 2	性周期と繁殖生理・食性と飼養法			
	10	鶏の飼養管理 1	歴史・品種・特徴・消化器の形態と機能			
	11	鶏の飼養管理 2	性周期と繁殖生理・食性と飼養法			
	12	飼養施設見学 1	各家畜の飼養施設の概要 ①			
	13	飼養施設見学 2	各家畜の飼養施設の概要 ②			
	14	附属動物医療センター見学	あらゆる分野の動物医療現場を理解する			
15	総括	まとめ				

科目名	動物外科看護学Ⅱ	担当講師 (実務経験)	薄田 治夫 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象学科	動物看護学科	年次・学期	2年 (<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input type="checkbox"/> 後期)		
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(15) 後期(-)	時間(単位)	30(2)
概要	外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの周術期の流れを系統的に理解し、安全な手術の実施に必要な知識を修得する				
テキスト等	認定動物看護師教育コアカリキュラム2019準拠 臨床動物看護学①(interzoo)				
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)	授業進度は変更になる場合があります		
	定期試験	60%			
	小テスト・技術力・作品 授業態度	20%			
	レポート	%			
	出席状況	20%			
授業進行		講義テーマ	講義内容		
	1	術中補助 1	代表的な手術器具(メス、鉗子など)の名称と使用法		
	2	術中補助 2	代表的な縫合材(縫合針、縫合糸)の分類と使用法		
	3	術中補助 3	代表的な歯科器具の名称と使用法		
	4	術中補助 4	直接補助(手袋着用下での補助)		
	5	術中補助 5	関節補助(手術回りの補助)		
	6	術後管理 1	麻酔覚醒後の動物のモニタリング		
	7	術後管理 2	疼痛管理の意義と方法		
	8	術後管理 3	術創管理と包帯法		
	9	術後管理 4	退院時の注意点と飼い主への説明事項		
	10	術後管理 5	褥瘡の予防及び対処法(体位変換など)		
	11	総括	まとめ		
	12	動物理学療法 1	動物理学療法の目的と意義 ①		
	13	動物理学療法 2	動物理学療法の目的と意義 ②		
	14	動物理学療法 3	代表的な理学療法の原理と手技 ①		
15	動物理学療法 4	代表的な理学療法の原理と手技 ②			

科目名	動物病理学	担当講師 (実務経験)	薄田 治夫 有■ 無□		
対象学科	動物看護学科	年次・学期	2年 (■前期 ・ □後期)		
授業形態	■講義 □実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(15)後期(一)	時間(単位)	30(2)
概要	様々な疾病が組織や臓器にもたらす変化を学び、病態について理解する				
テキスト等	認定動物看護師教育コアカリキュラム2019準拠 基礎動物看護学②(interzoo)				
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)			
	定期試験	60%			
	小テスト・技術力・作品	20%			
	授業態度				
	レポート	%			
	出席状況	20%			
授業進行		講義テーマ	講義内容		
	1	動物病理学の基礎 1	病理解剖と病理組織学的検査の目的、意義		
	2	動物病理学の基礎 2	病理組織標本の作製法・病理組織学的検査の実施手順		
	3	細胞や組織に生じる変化 1	変性と物質沈着		
	4	細胞や組織に生じる変化 2	壊死とアポトーシス		
	5	細胞や組織に生じる変化 3	細胞増殖のメカニズム、再生と化生		
	6	細胞や組織に生じる変化 4	過形成と肥大		
	7	細胞や組織に生じる変化 5	低形成と萎縮		
	8	循環障害 1	充血とうっ血・出血の原因と病態・血栓・虚血と梗塞		
	9	循環障害 2	浮腫と水腫・ショックの原因と分類・病態・播種性血管内凝固の病態		
	10	炎症 1	炎症の定義と5大主徴・炎症の分類と原因と特徴		
	11	炎症 2	炎症に関与する細胞と化学伝達物質・炎症の経過と治癒		
	12	腫瘍 1	腫瘍の定義と分類・腫瘍の原因と発生機序		
	13	腫瘍 2	腫瘍と宿主の関係・腫瘍の転移と進行		
	14	先天異常 1	遺伝子・染色体異常		
15	先天異常 2	発生異常と奇形			

科目名	動物薬理学	担当講師 (実務経験)	薄田 治夫 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象学科	動物看護学科	年次・学期	2年 (<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期)		
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(15) 後期(15)	時間(単位)	60(4)
概要	代表的な薬物の体内動態と作用機序、臨床応用及び副作用について学び、動物の疾病の診断や治療にどのように用いられるかを理解する				
テキスト等	認定動物看護師教育コアカリキュラム2019準拠 基礎動物看護学②(interzoo)				
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)			
	定期試験	60%			
	小テスト・技術力・作品	20%			
	授業態度				
	レポート	%			
	出席状況	20%			
授業進行		講義テーマ	講義内容		
	1	動物薬理学の基礎 1	獣医臨床における薬物治療の概念と目的		
	2	動物薬理学の基礎 2	薬理作用とその発現機構		
	3	動物薬理学の基礎 3	薬物動態(吸収、分布、代謝、排泄)と半減期、耐性		
	4	動物薬理学の基礎 4	薬物間相互作用		
	5	動物薬理学の基礎 5	副作用と中毒		
	6	愛玩動物看護師による薬物の取扱い 1	投薬量計算		
	7	愛玩動物看護師による薬物の取扱い 2	各種投薬法(投与経路)・飼い主への投薬指導・薬物の適切な管理方法		
	8	神経系に作用する薬物 1	全身麻酔薬と局所麻酔薬		
	9	神経系に作用する薬物 2	鎮痛薬		
	10	神経系に作用する薬物 3	運動神経系に作用する薬		
	11	神経系に作用する薬物 4	鎮静薬と抗けいれん薬		
	12	神経系に作用する薬物 5	問題行動の治療に用いられる薬		
	13	呼吸器系に作用する薬物 1	呼吸興奮薬		
	14	呼吸器系に作用する薬物 2	鎮咳薬・気管支拡張薬		
15	循環器・泌尿器に作用する薬物 1	血管拡張薬(降圧薬)			

		講義テーマ	講義内容
授業進行	16	循環器・泌尿器に作用する薬物 2	心不全治療薬(強心薬)・抗不整脈薬について理解する
	17	循環器・泌尿器に作用する薬物 3	利尿薬
	18	消化器に作用する薬物 1	制吐薬・制酸薬・胃粘膜保護薬
	19	消化器に作用する薬物 2	消化管運動調整薬
	20	消化器に作用する薬物 3	止瀉薬・しゃ下薬
	21	消化器に作用する薬物 4	肝疾患の治療に用いられる薬物・膵酵素製剤
	22	オータコイド、代謝・内分泌系の薬物 1	代表的なオータコイド
	23	オータコイド、代謝・内分泌系の薬物 2	糖尿病治療薬
	24	オータコイド、代謝・内分泌系の薬物 3	甲状腺ホルモン製剤・ステロイドホルモン製剤
	25	血液・免疫系に作用する薬物 1	抗貧血薬・血液凝固抑制薬・血液凝固促進薬(止血薬)
	26	血液・免疫系に作用する薬物 2	非ステロイド系抗炎症薬(NSAIDs)・免疫抑制薬
	27	感染症の治療、予防に用いられる薬物 1	抗菌薬・抗真菌薬(作用機序による分類、抗菌スペクトルなど)
	28	感染症の治療、予防に用いられる薬物 2	駆虫薬
	29	感染症の治療、予防に用いられる薬物 3	殺虫薬・消毒薬
	30	悪性腫瘍の治療に用いられる薬物	抗悪性腫瘍薬(作用機序による分類)